

短大でも「エントリー制」導入

大学センター利用入試 選択科目を増やす

16年度の入試要項を発表

金沢学院大と金沢学院短大は、平成十六年度の入学試験要項と学科構成をこのほど発表しました。入試要項の大きな変更点は、短大にも新たに「エントリー入試」を導入したこと、大学・短大とも、この「エントリー入試」を複数回実施することを盛り込んだ内容となっております。

エントリー入試複数実施

短大3回、大学4回

大学入試科目については、一般入試で選択科目として情報デザイン学科に日本史、世界史を新たに加えたほか、文化財学科に数学・Aを加えました。

センター試験利用の受験者についても、各学科とも選択科目を増やして、受験生が受けやすい環境を整えました。

学部・学科構成では、三学科がありました。経営情報学部は、産業情報学科を経営情報学科に統合して、経営情報学科(募集人員百八十人)とネットワークビジネス学科(募集人員百人)の二学科に変更されます。

美術文化学部では美術工芸学科を専攻制に改め、

絵画専攻(日本画コース、洋画コース)と工芸専攻(陶芸コース、漆芸コー



女子柔道団体決勝で果敢な攻めをみせる金沢東大将の佐藤選手

スとして募集することになりました。美術文化学部の美術工

芸学科に、新たに美術文化専攻科美術工芸専攻(在学期間一年)を開設し、学部

四年間の教育の上に、さらに研究・教育を目指して設置するものです。

女子柔道団体輝くV4

個人、5階級を制覇

高校総体 各競技に東高校勢が活躍

平成十五年度石川県高校総体は六月五日から四日間に行われ、県内各地で行われ、金沢東高を制覇しました。

このほか、ゴルフで男子団体、トランポリンで男子団体が栄冠を勝ち取りました。個人ではトランポリン女子で世戸瑠子選手、ポウリング男子の川崎拓也選手が優勝(個人総合では五位)しました。

上位入賞では、トランポリンの女子団体が二位、ソフテニス男子団体が二位、卓球男子団体も二位になったほか、体操男子団体は三位と健闘しました。

個人種目の女子柔道で優勝を飾ったのは、角島秋美、松本明子、林裕美、平井舞、佐藤雅美の五選手。二位に川崎睦選手、三位に霜村美奈、栗原真琴選手。男子柔道でも三位に鈴木玄一、角地雄平選手が入りました。

ゴルフでは、三位に木村一茂選手、トランポリン男子で三位に甲野太郎選手、体操女子個人総合で二位に田屋雅子選手、ボクシング・ウェルター級で二位に村上力也選手が入るなど活躍しました。

発行・入試広報部